

桐塾 祐天寺教室(2019年12月実施)回答数5

放課後等デイサービス評価表(事業所内)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	評価内容等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			曜日によって同時間帯にスペースが不足する場合がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			OK
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			外階段が急なので、利用者の退所時には気を付けるよう言葉かけしている。注意を促す掲示を行ったり、必要時には階段を降りる際に介助や見守りを行う用紙改善を図った。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			OK
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			OK
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			OK
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	第三者評価は入りたいが費用対効果が不明。法人としての検討課題にあげて協議していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			非常勤職員もできるだけ多く参加できるようにしていきたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			相談支援事業所と連携して、利用開始までにできるだけ情報を集めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		5		支援開始前に発達検査を受けていることが通例でその経過は外部機関でお願いしている。標準化された検査は実施していないが、ケースに応じて言語検査や質問紙等を行う場合がある。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			OK
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			毎回少しずつ変えるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			個別のニーズに応じて実施。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		5		集団活動は長期休業期間等に集中して実施しているが、周知不足もあるのか、参加状況が芳しくない。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		5		集団活動がある場合のみ実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			OK
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			OK
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			OK
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			ケースに応じて必要なものを取り入れている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			指導時間と重なった場合は他の職員ができるだけ参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		保護者を介して行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5			保護者を介して行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		保護者を介して行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1		保護者を介して行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	設定が困難。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	参加する必要があるが出てきたら参加する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2		一人で通所している場合、共通理解が為されていない状態の場合がある。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1		今年度はペアトレの実施無し。子育てに関わる情報について適宜情報提供を行っている。
護者への説明責任	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			OK
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			OK
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	今後、検討していく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			OK
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			OK
	㉕	個人情報に十分注意しているか	5			OK
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			OK
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	今後、検討していく。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1		全社共通のものを作成中。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			毎月実施
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			年度末に実施予定
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		5		低学年までの児童について、危険な行動を言葉で制止するのが難しく急を要する時に限り、身体を抑える場合がある。身体拘束と考える対応を行った場合は、保護者への報告とともに、職員間で事情を共有し、その内容を記録して
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			喫食を伴うイベントの際は、イベントの実施ごとに保護者に食物アレルギー等について確認を取っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			業務日誌等で事例を共有している。

サービス評価表の自己点検によって検討した改善目標(公表する内容)	
①	個別専用の教室が不足する時間があるか、出来得る限りの防音や安全対策をどうして設備面の心配や不満が出ないようにしていく。階段の危険なども指摘されているところであり、できるだけ早期に新しい物件を見つけて転居できるように検討を進めている。
②	第三者評価の導入、地域の人との交流、保護者会の開催などは、すぐには実現できない見込み。できることが少しずつ時間をかけて検討していく。
③	集団活動については要望が少なく、実施しても参加者が少ない現状。周知不足や対象者を絞り過ぎているかもしれないので、直休業日に一定の参加者が見込めて、有意義な内容の活動を企画していく。
④	ペアトレについても、営業時間内の設定や会場の確保が難しいため、教室としてでなく、法人としての開催を敢闘していく。当面は他団体が開催するものを紹介していく。
⑤	一人通所の児童が増加傾向にあり、保護者との支援内容・目標の共有や説明が不足している場合がある。今後も、原則として保護者に来所していただくことを基本として行くが、メールやネットを介しての情報共有方法を検討して試行していきたい。
⑥	各種業務マニュアルや研修の参加など、次年度中に法人全体として改善が図られる見込み。
⑦	通常の指導時間内や枠内で発達検査を行うことは困難。通所支援の枠と別に法人の別事業として有償等で検査等を行うサービスができるよう検討していく。